

## 術中経食道心エコープローブに起因する胃損傷回避策のモニター結果の解析

### 1. 研究の対象

2023年3月～2025年7月に、高知大学医学部附属病院において心臓・大血管の治療を全身麻酔下で受けられた方

### 2. 研究目的・方法

全身麻酔で心臓や大血管の治療を行う時には、体内の様子をリアルタイムに知るために「経食道心エコー」を使います。胃内視鏡くらいの太さのプローブを口から食道内に入れ体内から超音波を用い心臓や大血管内の様子を可視化する方法ですが、頻度は低いものの食道や胃の損傷が起こることがあります。慎重に操作しても損傷が起こる理由を明らかにするため2023年3月～7月の患者さんを対象に研究を行い、いくつかのことがわかつてきました。その結果をもとに対策を立てましたが、今回の研究では2023年8月～2025年7月に治療を受けられた方で損傷の頻度が減ったかを確認し、対策が正しかったかを検証するとともに、損傷が起りやすい背景因子がないかを解明します。

研究期間は研究機関の長の実施許可日～2026年7月31日までとなり、診療情報を利用し始める予定日は2025年11月1日です。

### 3. 研究に用いる情報の種類

検討に用いるのは、電子カルテに保存されている治療経過の記録や年齢、性別、体重、身長など患者さんの背景因子などで、いずれも個人を特定されない形で検討を行います。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。  
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部 渡橋和政（研究責任者）

[TEL] 088-888-2022（連繋医工学内）